

3年学年だよ

第3号
2016/06/07
志賀町立志賀中学校



5月31日、羽咋唐戸山相撲場では、羽咋郡市の中学校5校の声援が響きわたっていました。昨年、惜しくも優勝を逃し、悔し涙で相撲場を後にしました。今年はなんとしてもリベンジを果たしたいという強い思いを抱き、日々の練習に励みました。

大会当日。選手の闘志に燃える熱い視線が注がれます。学校を背負って知らない相手と闘うことは、とても緊張し、不安だったことでしょう。自分に打ち勝つ強い意志は、応援団に伝わりました。志賀中生全員で闘った結果は、見事に団体優勝、個人も2位、3位に入賞することができました。それぞれが自分の役割を十分に果たし、素晴らしい応援となったことは、志賀中生にとって忘れられない思い出となりました。

唐戸山相撲大会の感想文には、選手として、応援リーダーとして、生徒会として、吹奏楽部として、それぞれの立場で見て感じたことが素直に書かれています。このような行事を通して、団結することの素晴らしさ、一人一人の頑張りで大きな力となることを学び、これからの勉強、部活、様々な行事に活かしていければと思います。



【相撲選手】

僕は2回目の出場でしたが、試合前は体がガチガチで、緊張していました。しかし、そんな時に僕を励ましてくれたのがチームメイトのみんなでした。そのおかげで、試合を重ねるうちに緊張がほぐれていきました。そして迎えた団体決勝。みんなの気合いとガッツで見事優勝することができました。個人でも昨年負けた強敵に勝ち、3位になることができて良かったです。応援してくださったみなさん本当にありがとうございました。《谷口 陽治 (4組)》

3年生として挑んだ最後の唐戸山相撲大会。今年の目標は「リベンジ」。試合が始まるとメンバーの雰囲気が変わり、選手同士声を掛け合い、一番集中して取り組むことができました。みんなの声援が力となり練習以上の成果を出すことができたと思います。そして優勝旗を持ってこられたのはみんなの心が一つの「輪」となったからだと思います。

指導してくださった先生やコーチ、リーダーをはじめ応援してくださったみなさんに感謝しています。ありがとうございました。《前田 直耶 (1組)》

僕は、唐戸山相撲大会に選手として出場しました。去年は団体優勝6連覇がかかっていたけど決勝で羽咋に負けて、とても悔しい思いをしました。だから、今年は、去年の3年生の分まで頑張ろうと決めました。本番では、予選一位通過で、決勝トーナメントでは富来に5-0、羽咋に4-1の圧勝で、志賀中に優勝旗を持って帰ることができました。この優勝は、僕たちを指導してくださったコーチの上田さんや山崎さん、応援してくれた全校生徒、そして、サポートしてくれた先生方のおかげです。みんなに感謝したいです。《今川 大宙 (2組)》

【生徒会執行部】

「リベンジ」この一心で毎日の昼休みと放課後の応援練習に励みました。最初は、声や動きのキレは全くなく、たくさんの先生に指導を受けました。すると日に日に声も動きのキレも増してきました。大会当日は、とても暑かったけれど今までの練習では聞いたことがなかったくらいの声が生徒全員出ているのが驚きました。この応援が選手を後押しして羽咋中に「リベンジ」することができました。この団結力をこれからも生かしていきたいです。《伴 陸良 (2組)》

行事予定

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
5 地区懇談会	6 地区懇談会	7 3年実力テスト	8 地区懇談会	9 激励会	10 オーケストラ鑑賞会	11 全能登地区大会
12 全能登地区大会	13	14 町教委上期学校訪問 安全点検日	15 指導主事訪問 スクールカウンセラー来校(PM)	16	17 第3回PTA実行委員会	18 全能登地区大会
19 全能登地区大会	20 新清掃区域	21	22 スクールカウンセラー来校(AM)	23 いしかわ学校読書の日	24 県陸上激励会	25 県陸上競技大会
26 県陸上競技大会	27 県体抽選会 学び集会	28 専門委員会	29 職員会議 家庭学習強化週間 スクールカウンセラー来校(PM)	30	7/1 全校集会	



【応援リーダー】

初めのころの練習では、あまり声が出ず、ダンスのキレがなかった。しかし、毎日の昼休みの練習で意識し、直すことができてよかった。本番では、全校生徒から大きな声を引き出すことができ、どこの中学校よりもすごい応援ができてよかった。そして、団体決勝では、応援団、選手、先生方が一つになり、優勝旗を勝ち取ることができてよかった。校長先生と志賀中サイコー！と言えてよかった。来年も頑張りたい。《出島 光翔 (1組)》

私が一番印象に残っている試合は、団体戦の決勝戦です。一日の中で最も気温の高い時間帯での決勝戦。みんなの疲れがピークに達する時での大一番。私はその時ベストな応援ができるのか不安でした。しかし、実際は私の不安を吹き飛ばす程のものでした。団長をはじめとしてリーダー・生徒会・吹奏楽部・全校生徒みんなが一つになり選手を応援することができました。このメンバーで応援することができて本当によかったです。ありがとう。《藤井 睦子 (4組)》

【吹奏楽部】

唐戸山での炎天下の中、志賀中選手が一生懸命闘っている姿に胸が熱くなりました。吹奏楽部として、応援リーダーや全校生徒と共に私たちが演奏をすることができて良かったです。志賀中の魂を生徒が一丸となって発揮できたと思います。3年生で今年が最後の唐戸山相撲大会でしたが、この3年間で最高の大会となりました。懸命に闘った選手達は、志賀中の誇りだと思います。《瀧川 葉月 (3組)》



